

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																	
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																	
事務事業名	入学卒業記念品経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	10	項	1	目	1	事業	2
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当係	総務	係	作成者	倉持 勝利	内線(電話番号)	8211	シート作成日	H30.11.9	部長決裁日	H30.11.15			
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市教育大綱)				根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)								

2 事務事業の目的															
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。															
現状課題	小学校及び中学校の入学・卒業の記念として記念品を贈呈する。				誰・何を対象に	市内小中学校入学生及び市内小中学校卒業生				望ましい状態	市からの記念品を活用し、楽しい学校生活が送れるよう記念品を贈呈する。				
					どのような方法・手順で	小学校入学時には「さんすうセット」を、卒業時には「英和辞典」を配布している。 中学校入学時には「ヘルメット」を、卒業時には「印鑑」を配布している。									

3 事務事業の主たる成果指標														
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	記念品贈呈率	単位	%	目標値	100	目標年次	平成 30 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	対象者全員へ配布することで、児童生徒及び父兄にとって新たな節目を迎えられるとともに、児童生徒の学校生活の充実に資することができると考え、贈呈率を目標とした。平成31年度からは、市内小中学校の全児童生徒に配布していることから、成果評価は設定しない。					

4 事務事業の実績 ㊦															
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。															
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度						
	業務名				業務名				業務名						
①	入学・卒業用記念品贈呈業務				入学・卒業用記念品贈呈業務				入学・卒業用記念品贈呈業務						
②	年1回				年1回				年1回						
③															
④															
⑤															
⑥															
⑦															
⑧															
⑨															
⑩															
⑪															
⑫															
	目標値に対する実績値				目標値に対する実績値				目標値に対する実績値						
	100 %				100 %				100 %						
決算額	計	3,830,036 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 3,830,036 円	計	3,852,069 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 3,852,069 円	計	3,371,250 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 3,371,250 円
	(住民一人あたりの行政コスト) 62 円				(住民一人あたりの行政コスト) 63 円				(住民一人あたりの行政コスト) 56 円						

5 担当者評価 ㊧													
実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標どおり	成果内容	新たに対象者があった場合においても、その都度贈呈することもできた。これまで対象となる全ての児童生徒に対し、記念品の贈呈が実現できた。										
問題点	特になし												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	入学時卒業時に記念品を授与することにより、新たな気持ちで次のステップに進む意欲が生まれ、学校生活や社会生活の大きな励みとなると考える。												

7 実施計画 ㊩																								
今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																								
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度															
事業内容	報償費(入学・卒業用記念品贈呈) 【小学校入学式】…さんすうセット配布 【小学校卒業式】…英和辞典配布 【小学校卒業式】…ヘルメット(自転車用)配布 【中学校卒業式】…印鑑配布				報償費(入学・卒業用記念品贈呈) 【小学校入学式】…さんすうセット配布 【小学校卒業式】…英和辞典配布 【小学校卒業式】…ヘルメット(自転車用)配布 【中学校卒業式】…印鑑配布				報償費(入学・卒業用記念品贈呈) 【小学校入学式】…さんすうセット配布 【小学校卒業式】…英和辞典配布 【小学校卒業式】…ヘルメット(自転車用)配布 【中学校卒業式】…印鑑配布															
予算額	歳出	計	3,817 千円	特定財源	0 千円	歳入	計	3,817 千円	一般財源	3,817 千円	計	3,817 千円	歳出	計	3,727 千円	特定財源	0 千円	歳入	計	3,727 千円	一般財源	3,727 千円	計	3,727 千円

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。常総市の子育て支援の一環の中に必要だと考えるため、今後も継続していただきたい。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	入学や卒業を祝い記念品を贈るこの事業は、新たにスタートする学校生活や社会生活の励みとなることから、減少傾向にある入学者数・卒業生数をしっかり精査した予算要求に努め、継続すべき事業である。												

11 事務事業の改善理由 ㊫													
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	年々減少傾向にある入学者及び卒業生の数を精査し予算要求に努める。												